市では、少子化や核家族化、地域の市では、少子化や核家族化、地域のきく変化する中で、学校や家庭、地域が大きく変年目を迎えたこの取り組みの様子について紹介します。
「協行など子でを行う」「協行ない」が 別にいます。今月は、昨年度の活動実力について紹介します。 子について紹介します。

協育ネットワーク事業とは

推進しています。 次の3つの内容を柱として市内全域で事業を

ワークをつくり、協働して子どもを育てていくことです。※「協育」とは学校、家庭、地域社会が連携してネット

学校支援

登録者数は77人にのぼっています。 対象に578回を開催し、現在のボランティアんが行っています。平成23年度は、小中学校を動、合唱の歌唱指導などをボランティアの皆さ動、合唱の歌唱指導などをボランティアの皆さかまたが求める学習支援に、いろいろな技術や学校が求める学習支援に、いろいろな技術や

放課後子ども教室

料理教室、スポーツ教室などいろいろな体験活放課後の子どもたちの居場所として、工作や



放課後学びの教室

放課後子ども教室

学校支援

教室を開催しました。 陶芸教室、染物教室、会社見学など110回の月に1回程度開催しています。平成23年度は、めて、子どもたちの感性や社会性を育もうと、動を行います。異なる学年の児童間の交流を深動を行います。異なる学年の児童間の交流を深

解後学びの教室

録アドバイザーは8人となっています。 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、 教職を退職された方や保護者などの指導で、

コーディネーターを配置

の調整などのお世話をしています。するボランティアやアドバイザーの確保、支援コーディネーター(まとめ役)が、学校の要望この事業を推進するために、4町に配置した

なお、コーディネーターは次の皆さんです。

|国見地域 行平幸司 さん ◆武蔵地域 伊藤恭子 さん

■東地域 萱島かよ さん ◆安岐地域 伊藤恵子 さん